

建築主：社会福祉法人 たすけあい倶楽部  
 設計：(株)双立デザイン設計事務所  
 施工：佐藤工業(株)関東支店

高齢者・障害者等に配慮した建築物

所在地：八街市東吉田912-8

特別養護老人ホーム

## 風の村



住戸（個室）群の全景（撮影：黒川スタジオ）

「風の村」は、50人が入居でき、デイケア部門も併設されている延べ面積3,684㎡、3階建ての老人ホームである。躯体はコンクリート造りであり、それなりの大きさであるにもかかわらず外からも、中に入っても集合住宅であることをほとんど感じさせない不思議な建物である。

まして施設であるとは思えない。「もう一つの我が家」を合い言葉に建物づくりとケアのシステムについて5年がかりで検討してきたということであるが、壁の色、フローリング、木の内装材など普通の生活感覚との違和感がなく、「我が家」へのこだわりがみごとに結実しているといえる。

斜面の敷地を生かして、低地部分に管理部門や、デイケア部門、地域交流スペースを3階建てにし、後半分は2階からつながる2階建ての居室部分となっている。居室をパティオ風にコの字型に配し、その中に中庭と地域交流スペースが設けられている。中庭の落葉樹を中心とした植栽が四季折々の季節感をもたらし、対面する部屋の内部が見えないようさえぎってくれる。

居室はすべて8畳程度の個室である。もう少し広めであればと思うが、グループホームのケアのあり方を取り入れるべく6~8室を1ユニットとし、リビングを設けるためには仕方がないことであっただろう。



レストラン・多目的ホール



ユニットのリビング

個々の高齢者のペースで生活時間が流れていくことを可能とした高齢者福祉施設づくりを大いに評価したい。

(川上 凧子)